

新旧対照表

【システムの相違一覧】	旧システム(USBシステム)	新システム(Ptoshシステム)
セキュリティ確保	SSL通信と施設(個人)認証	SSL通信と個人認証
個人情報への配慮	実名を含む個人情報はUSBメモリ内に保存されるが、オンライン送信情報に含めない	患者実名,住所詳細,TEL/FAX,Emailを含む強固なセキュリティを必要とする患者個人情報は取得しない
バックアップ	ユーザーのHDDにバックアップ	Ptosh バックアップサーバーに毎日フルバックアップ
アカウント	施設または個人単位でアカウント取得	ユーザー単位(医師・CRC・アシスタント等)でアカウント取得・管理
ソフトウェアのインストール	ソフトウェアのインストール並びに通信設定などが必要	不要
重複登録防止機能	同一施設内重複の同一診療IDを用いた重複チェックが可能だが、施設間重複排除への対応はない	生年月日、性別、初発診断時住所の3項目と、カナまたはイニシャルの項目を用いて施設内・外の重複排除が可能
担当医変更機能	テキスト値再入力にて修正	予め登録された当該診療科ユーザー一覧より選択
担当医異動機能	-	担当医の勤務先を変更可能。その際、担当患者の後任担当医を当該診療科ユーザー一覧より選択可能
患者転院機能	-	担当患者の転院処理が可能
検索機能	システム番号、施設患者番号、患者名(姓名:実名)、生年月日、診断日(日付範囲で抽出)、性別、住所(県)、初回転帰、予後・転帰、主治医、疾患登録データ送信(送信済みか否か)の各項目での検索が可能	当該診療科にて疾患登録した症例一覧をCSV形式にてダウンロード後、検索が可能。あるいは、症例一覧画面にてブラウザの検索機能を用いた検索が可能
ダウンロード機能	ダウンロード可能	ダウンロード可能
疾患登録状態表示	送信、疾患登録、初回転帰、予後・転帰の登録状態を表示	疾患登録シートの提出状況表示("未"提出または"既"提出) 一時保存機能については今後検討
診断名入力時の文字列検索	可能	可能
登録番号発番	患者基本情報入力後に発番	患者基本情報および疾患登録情報入力送信後に発番
年度毎登録数	自動表示	自動表示機能はないが、症例一覧をCSVダウンロード後年度毎登録数を計算可能
患者実名	患者実名(送信しない)	実名は取らない、イニシャル
主治医の入力形式	テキスト値での入手	予めユーザー登録したユーザー一覧からの選択

入力値修正	登録済みデータをいつでも修正できる(修正履歴がとられているか不明)	疾患登録情報はデータが提出(送信)された段階で固定され、修正が必要な場合はデータセンターにて修正を要する項目のロック解除後、施設側より変更・修正が可能となる(修正履歴がとられている)。生死情報については常時更新が可能。
データセンターへのメール連絡		web画面右上の「データセンターへ連絡」ボタンを押し、メールでの連絡が可能。
腫瘍性と非腫瘍性のいずれか選択肢	あり	なし(WHO分類で既に分かれているため)
登録画面	各診断名に応じ、各詳細画面が切り替わる	画面の切り替わりは無い
疾患の分類	WHOの大分類より更に中間分類を設けている	WHOの大分類、疾患分類に完全準拠
予後因子	取得していない	国際予後因子(全年齢)(International Prognostic Index : IPI),濾胞性リンパ腫国際予後因子(FLIPI),HL 国際予後スコア(International Prognostic Score : IPS)
テキストでの詳細入力	稀な疾患のテキスト値入力、部位など	集計が必要な項目についてはテキスト値ではなく選択式あるいはラジオボタンでの入力とした。部位についても集計可能な様にラジオボタンで予め値を選択可能になっている。選択肢に存在しない場合はDCに連絡いただき選択肢に速やかに追加する。